

議員の欧州視察を自・公・民など多数で実施に

～日本共産党は意見を述べて反対～

5日に開かれた横浜市議会では、議員の海外派遣が提案されました。

議員が審査、調査などにより視察をする場合には、市会が議員を派遣するという形をとり、市会の議決で決定することが市会会議規則で決められています。しかし、「緊急を要する場合又は閉会中には議長において決定する」というただし書きがあり、従来はこのただし書きに従って議長決済で海外視察を行ってきました。

今回、自民党、民主党から、合計12名が6月末から7月初旬にかけて、11～12日間のヨーロッパ視察の申し出があり、現在第2回定例会が6月19日までの日程で開会中のため、市会の議決が必要になりました。

視察は、子育て支援や介護施設訪問などもつ

ともらしいものもありますが、フィヨルドや水力発電など横浜市と関連なさそうな所の名前もあがっています（下表参考）。

本会議に先立って行われた議会運営委員会で、日本共産党の河治民夫議員は、視察の目的・日程は示されているものの金額が明らかになっていない、議会として派遣するのだから海外視察費の上限である1人120万円（新人議員は60万円）は議員の自己負担であっても超えてはならないなどの意見を述べ、必要ならば政務調査費を使うべきだと述べました。他党派からは、誰も発言がありませんでした。

採決の結果、日本共産党は反対しましたが、自民、民主、公明、民主ヨコハマ等の賛成多数で可決されました。

目的	本市の環境施策及び福祉施策等の参考とするため、世界各都市を調査し、国際交流を促進することを目的に欧州各都市を視察する。	
場所 (視察都市名)	一班 (自民党)	二班 (民主党)
	オスロ市 (ノルウェー) ・子育て支援策 コングスベルグ市 (ノルウェー) ・地球温暖化による洪水被害と対策 ベルゲン市 (ノルウェー) フィヨルドに関する環境保全策視察 *現地担当部署との意見交換を含む ・シマ水力発電所のエコ発電事業	
	ウプサラ市 (スウェーデン) ・訪問と意見交換 ・介護施設の状況視察 ・ニート対策	
	ブカレスト市 (ルーマニア) ・日本、ルーマニア友好委員会表敬訪問 ・ルーマニア政府関係者と意見交換	ミュンヘン (ドイツ) ・労働者福祉老人ホームデイケア視察 ・自動車交通環境に対する負荷の軽減対策
	コペンハーゲン市 (デンマーク) コペンハーゲン市訪問と意見交換 ・介護・福祉施設視察 ・風力発電施設、港湾施設、文化施設の状況視察	
期間	2008年6月27日～7月8日	2008年6月27日～7月7日
議員	伊波洋之助、藤代 耕一、佐藤 茂、大久保純男、山田 一海、畑野 鎮雄、丸山 峰生	森 裕之、小粥 康弘、川口 珠江、中尾 知一、中山 大輔

(議会運営委員会提出資料より作成)